山川中学校だより

自律　親和　創造

第７号
令和８年１１月９日(月)
文責：谷　陽子

自分らしさを力に、未来を切り拓く
～「働くこと」の意義と、自律した生き方を考える～

朝夕の冷え込みに、秋の深まりを感じる季節となりました。先日行われた合唱フェスティバルでは、各学級・学年で心を一つにした美しいハーモニーが体育館いっぱいに響き渡り、生徒たちの互いを高め合う強い絆と確かな成長を感じるひとときとなりました。多くの保護者の皆さまにご参観いただき、ありがとうございました。

さて、10 月には、１年生の「職業調べ」や「ふるさと学習」、２年生の「職場体験学習」や「キャリア教育出前授業」、そして３年生の進路選択に向けた取り組みなど、全校で生徒たちが自らの将来や生き方について具体的に考える学習を深めました。11 月 23 日の「勤労感謝の日」を迎えるにあたり、全校集会では「働くことの意義」と「自分らしく生きること」について、生徒たちにメッセージを送りました。

「働く」という言葉には、一説に「傍（はた）を楽にする」、つまり周りの人を助けたり笑顔にしたりするという意味が含まれていると言われます。私たちの毎日の暮らしは、社会の中で誰かが果たす仕事によって支えられています。学校生活においても、教員だけでなく、環境を整える事務や用務のスタッフ、スクールバスの運転手、学校給食センターの方々など、多くの大人の仕事によって成り立っています。生活を営むためにお金を稼ぐことはもちろん大切ですが、それ以上に自らの行動で誰かに貢献し、「やりがい」を感じることこそが働くことの本質的な魅力です。そして、どのような職業に就くとしても、すべての仕事は人や社会との関わりの中で成り立っています。だからこそ、日頃の学校生活の中で、相手を思いやり、周囲から「信頼される人」になろうと努力を重ねることが、将来社会へ羽ばたくための最も大切な土台となります。

「どんな職業に就きたいか」という問いは、実は「どんな人生を歩みたいか」という自らの生き方に対する問いと深くつながっています。自分らしい未来を切り拓いていくためには、日頃から「自分は何が好きか」「どんなことに夢中になれるか」を丁寧に見つめ直すことが出発点となります。将来の道には様々な選択があり、時には思い通りにいかない場面に出会うこともありますが、自分らしさを大切にしながら目の前のことに一生懸命に向き合う中で、確かな「自分らしい生き方」が形作られていきます。

生徒たちが自らの強みや可能性に気づき、主体的に未来を切り拓いていけるよう、学校でも一人ひとりに寄り添った指導を続けてまいります。ご家庭におかれましても、保護者の皆さまの働く姿や仕事への思いについて、ぜひお子様と語り合っていただければ幸いです。



学校の様子を紹介します。

10月6日（火）～7日（水）　職場体験学習（２年生）



２年生は、２日間、地域の事業所で職場体験学習を実施しました。事前に事業所の方と打合せをするなど準備を重ねて臨んだ生徒たちは、実際の現場で社会の仕事に触れ、働くことの責任ややりがいを体感しました。生徒たちにとって将来の生き方を考える貴重な学びの機会となりました。

10月9日（金）　進学説明会（３年生）



３年生を対象に進学説明会を実施しました。近隣の高校５校から担当者様をお招きし、各校の特色や実際の学校生活についてお話しいただきました。第１回基礎学力テストを終え、本格的な進路選択の時期を迎えた生徒たちは、高校生活への思いを膨らませながら真剣な表情で説明を聞いていました。

10月15日（木）　体育祭



爽やかな秋晴れのもと、体育祭を実施しました。生徒たちは、工夫を凝らした種目に全力で挑み、会場は終始弾ける笑顔と温かい声援に包まれました。仲間と励まし合いながら全力を尽くす中で、クラスの絆も一段と深まりました。

10月20日（火）　お笑いから学ぶ人権教育講座

一般社団法人お笑い協会の講師をお招きし、講演会を開催しました。保護者や地域の方々も参加する中、校訓「親和」を軸にお笑いや大喜利を通して人と関わるときに大切にしたい視点を楽しく学びました。「ズレていてもフツウでもいい」と互いの自分らしさを認め合う心持ちを学び、これからの生活でしなやかに生きるための気づきを得ることができました。



10月30日（金）　ふるさと学習（１年生）

１年生を対象に「地域のよいところを見つけよう」をテーマとしたふるさと学習を行いました。「たねのや」の方々のご協力のもと、海外在住の山川町出身者とのオンライン交流で、外からの視点や地元の方々の温かさを知ることができました。後半のワークショップでは、地域の魅力を語り合い、オリジナルキャッチフレーズを発表し、郷土への思いを深める時間となりました。

